

令和 5 年度確保維持改善計画（フィーダー系統）の
事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月19日

協議会名: 四日市市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
三重交通株式会社	こにゅうどうくんライナー(1系統) 県立総合医療センター～小山田病院	【評価対象期間における前回の評価結果を受けての対応状況】 ・乗り継ぎ拠点でのモビリティマネジメントの実施について →乗り継ぎ拠点に設置しているバス待合室の窓に、バス利用を促す標語を設置し、国道1号や拠点施設の利用者にも見てもらうことでバス利用を啓発している。 ・利用促進イベントを企画・実施することについて →利用促進イベント「こにゅうどうくんライナーで健康&お買い物ツアー」を令和4年11月に2日間実施した。	A ・運行は計画どおりに実施した。	B 年間利用者数、収支率 (目標)6,000人、8%以上 (実績)5,539人、7% 対目標値 92%、88%(未達成) ・期間の半分以上は新型コロナウイルス感染症の5類移行前ということで引き続き外出控えの影響などにより利用者数は目標に届かなかった。ただし、前年度比では247人増加していることから、今後も利用促進に取り組むことで利用者数の増加につなげたい。 ・利用者数の増加に伴い、経常収益は増加したものの燃料費等の高騰によって経常費用も増加したことから、収支率は前年度から微増にとどまり目標に届かなかった。	・利用者増加のため、利用者に対して沿線の大型商業施設で使用できる買い物割引券を配布するなど買い物での利用を促すような取り組みを検討のうえ、関係者と協議し実施に向けて取り組む。(市、交通事業者、商業施設) ・利便性向上のため必要に応じてダイヤ変更を実施する。(市、交通事業者) ・過去の利用促進イベントで得られた意見を踏まえ、今後も利用促進イベントを企画・実施する。(市、交通事業者)

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月19日

協議会名:	四日市市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>・四日市市では、輸送力や定時性に優れる鉄道網を維持するとともに、バスやタクシー等の公共交通が相互に連携し、都市機能が集積する中心市街地を中心とした効率的な交通ネットワークの構築を目指している。</p> <p>・四日市平田線が近鉄四日市駅と鈴鹿市を南北に結ぶ幹線であり、イオンタウン四日市泊(乗り継ぎ拠点)で接続することにゆうどうくんライナーは、市南西部の住民の中心市街地、鈴鹿市方面へのアクセス手段を確保するため不可欠である。</p> <p>四日市市都市総合交通戦略及び四日市市地域公共交通計画に掲げる取り組みの方向に基づき、引き続き持続可能な魅力あるまちづくりに取り組む。</p> <p>【取り組みの方向(戦略)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自由に移動し交流できる公共交通体系づくり ②円滑な交通を支える道づくり ③まちなかの賑わいづくり ④市民・公共交通事業者・行政の連携づくり

中運交企第151号
令和5年3月10日

四日市市地域公共交通会議
会長 伊藤 勝美 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	四日市市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・利用啓発ポスターを作成し沿線地区の市民センターへ掲示したことを評価します。
- ・利用促進イベントの検討を行い「こにゅうどうくんライナーで健康&お買い物ツアー」を実施したことを評価します。

期待する取組

- ・乗り継ぎ拠点でのモビリティマネジメントの実施を期待します。
- ・利用促進イベントで得られた意見等を踏まえ、今後も利用促進イベントを企画・実施することにより利用者数増加に繋がることを期待します。

バス待合室に設置したバス利用を促す標語



利用促進イベント「こにゅうどうくんライナーで健康&お買い物ツアー」

- 実施日 ・令和4年11月15日、17日
- 実施場所 ・イオンタウン四日市泊
- 参加者数 ・23名
- 実施内容 ・本市の理学療法士による健康体操と施設内でのお買い物、飲食
- イベントへの意見 ・今後も実施するなら参加したい。 ・健康体操が良かった。
・地域の方と交流ができてよかった。 他

